

## 県高校総体競技種目別参加一覧表記上の注意

毎年、一覧表に記入ミス等があり集計に困っています。下記の点に注意して一覧表を作成してください。

- 1 実人数は、エントリーで認められている生徒の数（選手、認められているマネージャー等）を記入して下さい。ただし、バスケットボールのコーチ、アシスタントコーチなどは、生徒の数としてカウントできません。参考までに最大エントリー数を下記に表記してあります。
- 2 監督，コーチを含めて生徒引率者はすべて一覧表に記入してください。
- 3 各競技の参加申込書の実人数と一覧表の実人数を合わせて下さい。
- 4 男子部における女子のマネージャーは、男子の数としてカウントして下さい。
- 5 各競技の申し込み用紙は2部必要です。（高体連記録本部用と専門部用）ただし、一覧表は1部で結構です。
- 6 団体・個人の参加には必ず○印をつけてください。団体戦にも個人戦にも参加の場合は、両方の欄に○印をつけてください。
- 7 バレーボールのプログラム原稿は、専門部がプログラムを作るために使うものなので、原稿データを要項にある専門委員長のメールに送って下さい。

### ◎ チームゲームにおける最大出場人数（認められるマネージャー含む）

（ ）は、認められるマネージャー等の数

（注）マネージャーは生徒として実人数としてカウントする。

水球 1 3

バスケットボール 1 6 (1)

（注）アシスタントコーチは指導者としてカウントするので実人数には入れない。

バレーボール 1 5 (1) ※23年度から

ハンドボール 1 6 (2)

サッカー 2 5

ラグビー 2 6 (1)

ソフトボール 1 8 (1)

ホッケー 1 5

㊦ 団体戦と個人戦があり、両方で人数を確認しなければならない種目

団体の最大出場数(含補欠) + 個人戦のみの出場者

体操(競技)	6	
(新体操)	8	
卓球	7	[4名以上の場合は団体と認める] 4~7名
ソフトテニス	8	[4名以上の場合は団体と認める] 4~8名
バドミントン	7	[5名以上の場合は団体と認める] 5~7名
相撲	7	
柔道	男子 6	[男子は3名以上の場合は団体と認める]
	女子 4	[女子は2名以上の場合は団体と認める]
剣道	7	[4名以下の場合は団体とは認めない] = 5名以上は団体
弓道	7	[5名に満たない場合は団体とは認めない] = 5名以上は団体
テニス	5	
フェンシング	5	[2名以上の場合は団体と認める]
なぎなた	6	[3名以上の場合は団体と認める]
空手道	7	
レスリング	1 1	
ゴルフ	7	[3名以上の場合は団体と認める] 3~7名

㊦ その他

登山	1パーティ	5	(4 + 補欠1)男女各2パーティまで
自転車	1校	1 2	以内
ヨット	FJ級が一艇でも参加していれば団体出場とみなす		
	FJ級は一艇	4	以内 2人乗り(補欠2名まで)
	(注)シーホッパー級はオープン参加なので参加人数にはカウントしない		
少林寺拳法	団体演武も1つの種目(たとえば陸上競技のリレー)と考える		
アーチェリー	3		名以上で団体とする。

不明な点がありましたら、高体連事務局まで問い合わせ下さい。

T E L 0 8 7 ( 8 6 2 ) 6 9 0 8